

税で変える未来

みよし市立北中学校

3年 萩原 美優

私は、ある本を読んで税に対する意識が変わりました。その本に書かれていたのは、ドイツで行われている「犬税」についてです。それまで私は、人々の生活を豊かにするために税金が使われているということは知っていましたが、実際に助けているという実感があまりありませんでした。しかし、ドイツでは、税金の仕組みによって無責任に犬を飼う人が減り、また、集めた税金によって汚れた街の清掃費用などに使われるため、犬も人も暮らしやすい街づくりにつながっているということを知りました。税の仕組みを知り、それをつくることによって、暮らしをよりよくすることができるということを改めて感じました。そして、税の役割について、もう一度、考えたいと思いました。

私たちの未来を変える税について、SDG sの観点から考えてみました。具体的には、廃棄物にかかる税です。今、ゴミの排出量や食品ロスが大きな問題となっています。犬税のように今以上に、一人一人のゴミを減らそうという意識を高めて廃棄量をさらに減らし、作る・買う量を考えることや、ゴミを燃やす際の二酸化炭素の排出量削減につながると思います。そして、この集めた税を食べ物や服など、不要になったものを必要としている人へ手軽に届ける環境づくりに使うのはどうでしょうか。例えば、ドローンで自宅からすぐに届けられるようにしたり、地域ごとに回収ボックスを増やしたりなど、今、毎週ゴミ出しへ行くように、まだ、使えるものを簡単に回収ボックスへ入れに行くことができるようにしたいです。これらが実現できれば、貧困で困っている人を減らしたり、食べ物を十分に食べられない人を助けたりすることにも貢献できると思います。しかし、以前の私のように、実感できず、行動に移しにくいと考える人もいると思います。集めた税の一部を使って回収ボックスに入れてくれた人にポイントを付与することで誰かを助けることに貢献していることを実感することができ、SDG sの全員参加にもつながっていくと思います。

普段食べ物を買うとき、文房具を買うときなど、中学生の私たちが税に触れるのは主に消費税ですが、調べていくと、私たちの暮らしは税によって支えられていることがたくさんありました。そんなところを普段から実感したいです。また、私は税についての知識はまだまだ足りていないので、もっといろんな知識を身につけてこの税制度を通してみんなが安心して暮らせる手助けをしていきたいです。